

局長による序

南部科学工業園区管理局 局長 陳俊偉

「企業には後顧の憂いが無いように、同郷の人々には故郷の希望が見えるように」とは南科管理局チーム全体のはっきりとした使命と目標である。また我々の行動戦略は管理効率とサービス品質を全力で向上させ、公共施設環境のソフトとハードの完備、地方政府との十分な協力であり、メーカーの国際競争力を増強させることで地方経済の活性化及び台湾の科学技術の実力強化をはかる。この重い任務かつ遠い道のりである仕事を、私及び社員全員が堅持しつつ大きく邁進していきたい。

2006年を振り返ると営業運営成績方面において、南科は既に累計で198社の企業が許可されて進駐しており、就業人数は47,000人を超え、営業金額は1兆5,806億円に達した。優良環境建造成績方面においては国立南科国際実験高級中学が数多くの協議の末、ついに2006年8月1日正式設立の運びとなった。これは南科管理局チームの今年度最も代表的な事業成果である。また高鉄（台湾新幹線）振動減少工事は環境ストレスに影響されない安定した職場確保のためであり、期日どおり2006年10月に完工し、且つ振動減少効果テストも公正な第三者機関により確実に効果があると検証され、園区内の企業はいずれも安心して生産を継続できるようになった。これは南科管理局チームの困難を恐れない勤労態度の表れである。他に、行政院勞委會発表の「2005年度安全衛生傑出研究開発成果普及賞」、中華民國環境工程学会発表の「傑出環境保全工事賞」、健康生活館が「民間参加公共建設案件事業チーム業績卓抜賞」を受賞した。南科管理局チームが作り出した成績及び努力の汗に、私は深く肯定と感謝の意を表したい。

南科は現在開発中の段階にあり、2010年に完成の予定である。未来の展望としては、園区内の企業が増加し続ける建設投資計画の下、「南風再起」の字の如く、勇敢に、高規格を標準として自らに挑戦し、5年以内に営業金額3兆5,000億円という目標に向かって邁進していきたい。

